

「雑がみ」は大切な「資源物」

習志野市で収集されるごみの8割近くが「燃えるごみ」でその約半分が「紙類」です。この中には、資源として再利用できる「雑がみ」が多く混ざっており、分別することで限りある資源の節約とごみの減量に繋がります。分別にご協力ください。ホームページに雑がみ分類表も掲載しておりますのでご活用ください。雨天でも収集しますが、資源として再利用するため次の収集日に出してください。



雑がみ (リサイクルできる紙)

はがき、名刺 	お菓子などの紙 	ティッシュの箱 ※取り出し口のビニール部分を取り除く	包装紙
封筒 ※のりしろ部分の粘着物や窓付き封筒のビニール部分を取り除く	ラップ等の箱や芯 ※刃などを取り除く	紙袋 ※持ち手が紙以外の場合は取り除く	カレンダー ※金具やプラスチックでできた部分を取り除く

雑がみだけを束ねてひもでしばる

 雑がみだけを中身が見える状態で別の紙袋に入れる

資源物 の日
に出してください

雑がみを一時的に保管する「雑がみ保管袋」を公民館などの公共施設で配布しています。

資源物で出せない紙

写真	感熱紙 (レシート、FAXロール紙)	汚れた紙	圧着はがき	アルバム等	他にも ●和紙 ●銀紙 ●油紙 ●合成紙 ●粘着テープ ●シュレッターくす ●緩衝材 (靴の中の詰め物など) ●においがついた紙 など
カーボン紙・感圧複写紙 (宅配便の複写伝票など)	防水加工された紙 (アイスクリーム、カップめんなど)	ビニールやアルミ箔などの複合紙	食品が直接触れた紙	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> リサイクルに向かないため 燃えるごみ に出してください </div>	

食べ物を無駄にするのはもったいない

食品ロスを減らしましょう!

「食品ロス」とは、食べられるのに廃棄される食品のことをいいます。日本では毎年大量の食品ロスが発生し、大きな問題になっています。一人ひとりが「もったいない」を意識して行動しましょう! 環境省のホームページではより詳細な情報が掲載されています。



環境省食品ロスポータルサイト

買い過ぎない
使い切る
食べきる



食品ロスを減らすコツ



おかいもの編

- 1. おかいもの前に冷蔵庫チェック!**
買い物前に冷蔵庫や食材庫を確認し、無駄な買い物はしない。
- 2. 買いすぎない!**
まとめ買いを避け、使う分・食べきれぬ分だけ買って食べきる。
- 3. 期限表示を知って賢く買う**
利用予定と照らして、すぐ使う食品は棚の手前からとる。

※外食時は注文しすぎない、食べきれなかったものは持ち帰るなど、食品ロス削減にご協力ください。

ご家庭編

- 1. 適切に保存する**
食品ごとに記載された正しい保存方法に従い保存し、劣化を防ぐ。
- 2. 食材を上手に使い切る**
古い食材から使う。レトルト食品などは古くなったものから食べ、その分だけ買い足すことで、災害時への備蓄になる。
- 3. 食べきれぬ量を作る**
体調や健康、家族の予定も考慮し作りすぎない。